

# えがお大東っ子 第36号

大東市のホームページでも「えがお大東っ子」をご覧ください。

<http://www.city.daito.lg.jp/kakukakaranoosirase/gakoukyoiku/kyouikukenkyu/egaodaitoukko/>

## 学校図書館の充実のために

読書をすることは、「考える力」、「感じる力」、「表現する力」などを育てるだけでなく、豊かな心をはぐくみ、すべての活動の基盤となる「価値・教養・感性など」を育てることができる重要な活動です。また、様々なメディアからあふれ出す情報に囲まれた現代社会において、必要な情報を見極め取り出す力は、変化の激しいこれからの時代を生き抜くために、だれもが身につけなければいけない能力であるといえます。



各校においては、日頃より教員が中心となって読書活動の推進に努めており、図書の貸出・返却や読み聞かせ等を行っているほか、朝の時間の読書にも取り組んでいます。また、教科や総合的な学習の時間等にも学校図書館を活用しています。

学校図書館において、図書の授業や調べ学習のサポート、本の整理など環境の整備、本の貸出・返却等を行う、いわば学校図書館の縁の下の力持ち的役割を担うのが「学校司書」です。大東市では昨年度学校司書を中学校1校に配置していましたが、今年度より小学校2校と中学校2校の計4校の学校司書を配置しました。学校司書配置校では、「本が探しやすい調べ学習がしやすくなった。」「子どもたちの本の貸出冊数が増えた。」といった声があり、学校司書がそれぞれの学校の司書教諭等と連携しながら、学校のニーズに合わせた取り組みを行っていることがうかがえます。また、月に1回程度、



学校司書の連絡会を開催し、おすすめの本や学校図書館整備のアイデアなどの情報交換を行い、学校司書としてのスキルアップをめざしています。

今後ますます需要が高まる学校図書館に是非ご注目ください。

### 「大東ステップアップ学習プリント」掲載されているのご存知ですか？

大東市のホームページより「大東学び合いネット」にアクセスいただくと、市内全小・中学校で取り組んでいる「大東ステップアップ学習プリント」があります。家庭でも取り組めるように問題・解答を配信していますので、家庭学習にぜひご利用ください。

# 大東市の食育について紹介します！



## 愛情たっぷり中学校給食♪

大東市の中学校に給食が導入されて、今年の9月で5年目を迎えます。小学校とは異なるランチボックス式の給食に1年生は慣れてきたころでしょうか。

大東市の中学校給食は、献立の作成や食材の発注等は教育委員会で行い、調理は業者に委託しています。今年度より新たな調理業者も加わりました。より「安全でおいしい給食」を提供するために、これまで様々な改善をお願いしています。その一環で毎年各中学校の給食担当者等で調理場の見学を行っています。どちらの調理業者も安全・衛生面の徹底は想像以上です。調理着等の異物を除去するためのエアシャワーなどの導入とともに、手洗いなどに見られる調理員さんの意識の高さ。そして今回の見学で最も印象に残ったことが、調理員さん一人ひとりが『自分の子どもに食べさせるつもり』で心を込めて作っているというお話。また、大東市のある中学校が調理員さんへ送った感謝のメッセージが飾られ、みなさんの励みになっているとのこと。

調理員さんの姿が見えない中学校給食ですが、愛情たっぷり！！そんな心のつながりも大切に、心もおなかも満腹になる給食をこれからもめざしていきます！



手洗いはタイマーで時間を測り、2段階で！そのあとアルコール消毒です。



## 美味しい！楽しい！幼稚園の食育♪

諸福幼稚園、北条幼稚園のどちらの幼稚園でも園児は農作業を体験しています。農業体験は、園児だけでなく保護者の「食育」への興味・関心にもつながっています。例えば諸福幼稚園では、園児が種から育て、収穫した大根とともに『素材を生かす大根レシピ』を家庭に持って帰ります。実際に作ってもらった園児からは「葉っぱも全部おいしかった！」と好評。保護者から新たなレシピが紹介されたりもします。

また、北条幼稚園ではユニークな食育の取り組みが行われています。『内臓エプロン』を使って小腸の長さを知り驚く園児。さらに『ウンコダスマン体操』で食べ物が消化されるしくみ等を楽しんでいきます。



## 地域ファミリースポーツ 〔南郷ブロック大会〕



この大会は、誰もが気軽にスポーツを楽しめるように、ルールが簡単なニュースポーツを取り入れ、大東市スポーツ推進委員が開催しています。

今回の種目は、6月に深野小学校で実施して好評のキンボールとボール de ビンゴを行います。

キンボールは直径122cmの巨大なボールを使い、ピンク・グレー・ブラックに色分けされた3チームがコート内に入り、サーブやレシーブを繰り返しながら得点を競います。

また、本市スポーツ推進委員が考案したボール de ビンゴは、6m先のビンゴ盤の9つの穴をめがけボールを転がし縦・横・斜めのビンゴの数を競います。

いずれも1チーム4人で行いますが、1人でも参加できますので、日頃、運動不足と感じている方、この機会に一度参加してみたいかでしょうか？ご家族揃ってのご参加もお待ちしております。

日時：平成29年9月3日（日）9:30から  
場所：大東市立諸福小学校体育館  
種目：キンボール、ボール de ビンゴ他  
持ち物：体育館シューズ  
※水分補給は各自でお願いします。  
参加費：無料

## 図書館を使った調べる学習コンクール

大東市立図書館では、昨年度に引き続き、第2回「図書館を使った調べる学習コンクール」を開催します。このコンクールは、図書館の本を使って、気になることや興味のあることを調べてまとめた作品を応募していただくものです。応募期間は8月21日から9月18日まで。市内に住んでいる小学生から大人の方が応募できます。夏休みには図書館で、調べる学習コンクールの説明会や相談会を開催して、参加したい方を応援します。優れた作品には「市長賞」ほか各賞を授与する予定で、その中から全国コンクールへの出品が行われます。詳しくは、広報『だいとう』や図書館のチラシ・HPをご覧ください。夏休みの宿題として取り組むのもオススメです。

図書館では、このほかにも楽しいイベントをたくさん用意しています。ぜひ図書館へお越しください。



【第1回調べる学習コンクール 表彰式風景】

## <<大東市の支援教育>>

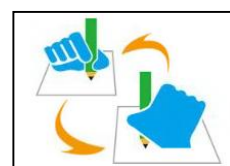
聴覚障害者への理解を前提とした手話の理解、普及促進を図り、すべての市民が安心して暮らし、つながりを深めることのできる地域社会の実現をめざし制定された「大東市こころふれあう手話言語条例」も2年目を迎えました。



大東市内の小・中学校では、この趣旨に則り、教育活動の中で、手話について学習する時間を設けています。国語の授業で取り扱ったり、音楽の授業で手話で歌を歌ったり、合唱コンクールで発表したりしています。また、聴覚支援学校の先生をお招きして直接手話を教えてもらった学校もあります。手話を身近なものとして理解し、コミュニケーションの一種としてとらえていければと考えています。



障害福祉課と協力し、各校に「耳マーク」や「筆談マーク」を配付し、職員室等におくことで、耳の不自由な児童生徒や保護者への配慮に対しての意識を高めています。



また、積極的にユニバーサルデザインによる授業づくりや集団づくりの取り組みを進めることで、障がいの有無に関わらず、すべての子どもが「ともに学び、ともに育つ」教育をめざし、支援教育の充実を進めているところです。

## 平成29年度 第6回 大東市教育研究フォーラム

大東市教育研究フォーラムは、大東市の公立学校園の教職員・保護者・市民で、広く大東市の教育について考える場です。学校・家庭・地域がより連携を深め、共に子どもの力を伸ばすためにも、大東市教育研究フォーラムに、ぜひご来場ください。

- テーマ：『学校教育ができること、家庭教育ができること  
～子どもの意欲を育むために～』
- 日時：平成29年8月1日（火） 午前9時20分～11時30分  
（開場・受付 午前9時00分～9時15分）
- 場所：大東市立総合文化センター サーティホール（大ホール）

### 【プログラム】

1. 開会  
趣旨説明 亀岡 治義 教育長  
あいさつ 東坂 浩一 市長
2. 実践報告  
大東市立谷川中学校  
「つながりで育む子どもの学び」  
大東市立泉小学校  
「子どものやる気を力に変える学校 ～外国語活動を中心に～」
3. 記念講演  
一般社団法人 家庭教育支援センター ペアレンツキャンプ  
代表理事 水野 達朗 氏  
「これであなたも、がんばる子どもの応援団長！！  
～みんなで子どものやる気を引き出そう～」



※なお、今年度は午後から教職員のみ対象で教科別分科会を実施します。